

2022年 7月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 7月 3日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 水戸 潔
聖書講話: コリントの信徒への手紙 二 4章5~18節
「土の器に納めた宝」 石原 潔
- 7月10日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 生江 扶左子 感話: 武井 めぐみ
聖書講話: マルコによる福音書 12章18~27節
「復活問答」 水戸 潔
- 7月24日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 溝口 春江
聖書講話: イザヤ書61章
「打ち砕かれた心を包むために」 武井 陽一
- 7月31日 (日) 集会 (クリエート浜松22号室)
司会: 大手 美千代 感話: 伊藤 純子
聖書講話: ヨハネによる福音書3章16~21節
「『愛と命』 ~使徒ヨハネは、なぜ福音書を書いたのか~」 榎本 潤

歴史の鉄槌を再び受けぬために！

溝口 正

61年前の敗戦は、偶像礼拝と侵略戦争への歴史の審判であり、鉄槌であった！
国中の都市は、ほとんど焼け野原。そして原爆！
食事も家もなく、町には孤児があふれていた。父ちゃん、母ちゃんが死んでしまって…

歴史は、日本に鉄槌を下したが、滅ぼさなかった。
かえって新日本として生まれ替(かわ)らせ ただ一つの生きる道を与えてくれた。
「日本よ、無軍備になって捨て身で平和を実現せよ」と。憲法九条が、それだ！
敗戦国日本を世界平和の道しるべとするために…

ああ、政府よ政治家よ国民よ、どこで道を迷ったのか
第九条を床の間に飾ったまま、僅か61年で、第9条の改悪を企むとは……。
米国と手を組み、堂々と戦争できる国にするために……新しい戦死者を想定して、靖国神社参拝を続ける首相……
すべてが軍靴の足音、その響きは悪魔のささやき。

再び歴史の審判は下るであろう。
見よ、全土を覆う倫理・道徳の腐敗と異常さを！ 見よ、立法・行政・司法の膿みただれた姿を！
見よ、新たなファシズムの登場に、雪崩(なだれ)を打って飛びつく国民を！

しかし、しかし、しかし、ただ一つ、歴史(神)の祝福を受ける道がある。
憲法第九条一項・二項を厳守すること、これである。愛する同胞よ、市民の皆さんよ！
第九条をそのまま、子や子孫に残そうではないか！ 歴史(神)の祝福を豊かにいただくために……。

主よ御こころを成したまえ。

『復活』473号 2006年8月 第474回 護憲行進